

## ■外部評価の試行について

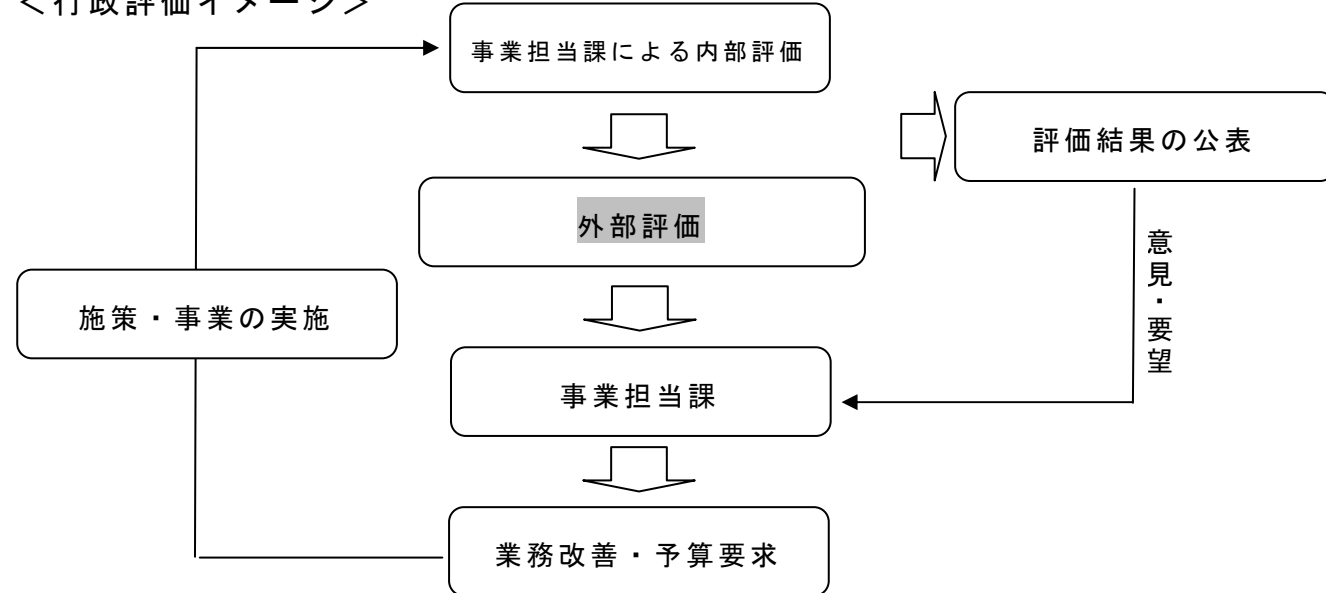
### 1 外部評価試行の目的

内部評価だけでは評価の客観性・透明性を担保することに限界もあるため、外部の視点で、内部評価を「市民感覚と乖離していないか」、「現状を肯定する甘い評価になっていないか」、「事業の内容等を分かりやすく説明しているか」などの観点から検証することにより、内部評価の客観性と評価内容の透明性・信頼性を確保する。

また、外部評価で得られた意見・提言等により、事業担当者の意識改革を促すとともに、他の施策・事業を自己評価する際の参考とする。そして、今後の施策・事業の方向性について検討し、予算編成や各種計画等への反映に努めるものとする。

※事業仕分けではないため、施策・事業自体の必要性は問わないこととする。

#### <行政評価イメージ>



### 2 外部評価の試行

清須市において外部評価を導入するにあたっては、評価対象施策・事業数、外部評価者の人員構成、実施時間など様々な角度から検証することが必要であるため、次のとおり外部評価の試行を実施した。

#### (1) 日時

平成25年2月22日（金） 午前9時～正午

#### (2) 評価対象施策・事業

内部評価を実施した施策・事業のうち、各部局1つずつ、合計6つの施策・事業を各部局と調整の上で決定した。

部 局	担当課	施策・事業名
企 画 部	企画政策課	コミュニティバス事業
総 務 部	防災行政課	放置自転車等対策事業
市民環境部	保険年金課	子ども医療費支給事業
健康福祉部	健康推進課	がん検診事業
建 設 部	地域開発課	名鉄新清洲駅北周辺整備事業
教 育 部	学校教育課	放課後子ども教室運営事業

#### (3) 評価者

福田清彦氏（清須市行政改革推進委員会会長）

牧野香三氏（清須市行政改革推進委員会委員・名古屋経済大学経済学部教授）

#### (4) 評価方法

〔1 施策・事業につき約30分〕	
ア 施策・事業の説明 （約10分）	施策・事業担当課職員（3名程度）が評価シートに基づき、施策・事業概要、実施状況、課題、自らが行った評価内容について説明
イ 質疑応答・議論 （約10分）	必要に応じて、施策・事業担当課に補足説明を求め、外部評価者同士で意見調整
ウ 評価・講評 （約10分）	内部評価の結果に対する評価、施策・事業の取組内容などに対する簡単なコメント